

陶寿会
菊 吉野 誠一



No. 79

発行所 泉町連合区
発行責任者 連合区会長 和田全弘
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中寮町 TEL 55-3653
編集部長 垣見 紘一

動き始めた駅前区

駅前区長 土本 勇夫

駅前区長を仰せつかって五カ月が経ちました。区三役の皆様始め各町内会長様に助けられながら、区民の皆様方のご理解のもと、今まで大過なく過ごすことが出来ました。心より感謝申し上げます。

さて、駅前区は土岐市駅を中心とした土岐市の表玄関として重要な地域であり、駅前商店街を擁して土岐市の発展のシンボルでもあります。然しながら、過去二十年以上にわたり駅前に対し、国及び県、市当局から全く投資がなされなく、全国にも稀な廃れた表玄関になってしまいました。

今回、市当局も遅まきながら、本格的に中心市街地整備事業を実施すべく、「新土岐津線道づくり委員会」を立ち上げ、土岐市駅前より西の踏み切り迄の60mを道路幅16mの幅員道路に平成二十三年迄に完了するよう立ち上がりました。また同時に、西の踏み切りの拡幅工事も本年度より開始され三年間の間に南北の道路が整備されます。駅前より中央橋にかけては、道路を底上げしてバリアフリーに対応する工事もいよいよ本年度より開始されます。又この都市計画道路の整備と同時に中心市街地活性化事業、土岐市駅周辺再開発事業も同時に進行される予定になっています。駅前区としては、区民の皆様のご要望をお伝えしながらこの事業に、区として大いにかかわりを持ち駅前区に微



ご承知のように駅前区は、土岐川、伊野川等の河川を擁しています。こうした河川の災害や東海地震、東南海地震が何時起こっても不思議のない昨今、土岐市には災害救助のための防災倉庫が12か所あります。しかしながら、駅前区には全くありません。久尻区の文化会館の横にある防災倉庫を共同で使用する事になって

災害には、十分機能しませんが、従って、駅前区独自の防災倉庫を用意して、災害時に迅速に機能できる器具や食料を用意する必要があります。今回市当局に正式に要望致しました。駅前区として早い実現の為努力して行きたいと存じます。まだまだ紙面では書き尽くせないいろいろな問題もございますが、次の機会にご報告申し上げます。どうか今後とも区の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大富区の活動状況

大富区長 水野 正彦

区長の大役を担ってからも五ヶ月が過ぎましたが、お陰様で大過なく推移しております。この三役、各町内会長のご理解、ご協力と皆様方のご指導・ご鞭撻の賜物と厚く御礼申し上げます。

平成十八年度の方針と事業計画(三役案)
○区会の改革と合理化(三役の役割分担)
区会の内容レベルアップ
○今年度の区のテーマとして「防犯、防災活動」に取り組む事に致しました。何事起きてもおかしくないと言われている東海地震、又直下型地震を最も近隣の治安の悪さ、行政のみに頼ることなく「地域の安全は地域で守る」をモットーに、今、区としてやらねばならぬ事は何か、区として出来る事は何かを整理して、まず出来ることからスタート致します。



6月6日付岐阜新聞

その為、当面三ヶ月の具体的な行動計画を、トヨタ方式(問題点の認識と実施スケジュール)の七項目で立案致しました。この原案を、四月一日の第一回区会に提案、承認されて、翌日より、スタートダッシュすることができました。「隼より始めよ」

ル隊(青色回転灯認可)を結成し、市、警察、学校関係並びに現在ボランティア活動されている平成会、大徳、東上、梅ノ木町等の方々

久尻区の課題解決にむけて

久尻区長 河合 哲心

区の間活動については、例えば、一つは例年通りの行事運営を滞りなく進めていくことと、本年度に限って推進しなければならぬ事業と二種類あります。

久尻区の本年度の特徴と課題を示せといわれれば後者のことを述べた方が妥当かと思えます。「主要道路土岐可児線の整備」については久尻区民のみならず泉町、土岐市全体の市民の念願でもあります。平成二十年度「土岐可児線住民参画型道づくり委員会」が当時の役員らによって発足し、以来、早期の改良を市や県に要望してきました。その努力が実って平成十七年度に五斗蒔地区の道路拡幅(土地買収を含む)が着工に至りました。(予算平成十七年度一億一千万円)本年度も継続事業として七千五百万円の予算がついています。なお、道づくり委員会は土岐可児線の文化会館南の



道路のことばかり書きましたが道路は区民、市民の生活と密着しており、その人たちは該当地域の要望や意向の取りまとめや、工事期間の子どもの登下校の安全確保、片側通行の不便解消など大変です。でも改善されることは喜ばしいことなので、二年、三年の辛抱と思ひ努力しているところです。

平成18年度 事業報告

- 6/22 第二回安全安心まちづくり東濃地域連携会議
- 30 第一回県議・市議団と連合区の協議会
- 7/3 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
- 15 泉町連合区定例会
- 8/1 女性部委員会
- 3 織部まつり
- 4 第55回岐阜県消防操法大会
- 7 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
- 19 泉町連合区定例会
- 9/4 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
- 12 女性部委員会
- 16 泉町連合区定例会

訂正とお詫び

第七八号で紹介しました安全サポート活動の記事で大徳町、梅ノ木町のパトロールの記事が、老人会中心となっておりました。訂正してお詫びいたします。

定林寺の現状と課題

定林寺区長 深谷 幸作

平成十八年度定林寺区会新役員によりスタートしてから五ヶ月が過ぎようとしています。

この間、区の諸事業・運営について区民の皆様はもとより各役員のご理解とご協力に感謝申し上げます。

本年度の主な目標として四点掲げています。

①、区のみならず伝道行事の継続実施

②、財政が厳しい中、区運営費の縮減

③、災害・緊急時に区及び各町内会が相互に連携が図れる体制の確立と研修・訓練の実施

④、フェロシルトの早期撤去と監視体制の強化であります。

①の区夏祭りは七月八日に泉町の夏祭りの先陣をきり開催し、天候に恵まれ多数の方々に参加頂き本年は特別にお子さんを始め若年層の姿が数多く見受けられ各町内会共ども喜んでおります。

②は、区役員のご理解のもとと鋭意運営経費の縮減を図っております。又地縁団体等においても必要の範囲で削減する考えはもち合わせておりませんので宜しくお願いいたします。

③については、九月十日に市総務課のご指導のもと、市防災センターにおいて「災害図上訓練」を計画し多数の参加をお待ちして

ます。地震等が発生し、個人や家族だけで対応出来ない時は、隣り近所の人達が協力し救助活動、消火活動等々行うこととなります。

「自分達のまちは自分達で守る」を合い言葉に、今後訓練等を実施していく考えです。

④は、平成十七年七月三日に定林寺区廃棄物（フェロシルト）撤去監視委員会が設置され各監視委員が結束し監視を続けて来ました。平成十七年十一月四日試験掘りが行なわれ以降撤去運搬の運びとなりましたが撤去期限は再三再四守られず本年七月三十一日に漸く全量撤去（約6万ト）されました。監視委員の皆様のご協力に心より感謝致しますと共に厚く御礼申し上げます。

尚、今後二度とこの様な事態がおこらないよう県・市条例の強化を求めます。

次に区の課題については、皆様もご承知のとおり宗教法人稲荷神社の宮司及び補宜の育成が急務であり人選が不可欠です。又地縁団体が不十分です。又地縁団体が定林寺区会の規約改正も喫緊の課題と認識し早期に検討を図る所存です。

今後共、皆様方の暖かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

河合区のお令

河合区長 保母 國彦

平素は、区の活動に対し、区民の皆様のご理解とご協力、並びにご支援を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。

河合区は、決して大きな自治体ではありませんが他の自治体でも多少の悩みを抱えていると思います。大きくない自治体ほど小さな悩みが大きな悩みです。

以前は、茸山の競売落札金収入が区の財政に大きく反映しておりましたが茸山の衰退が収入減につながりこれに比例して区費等の改正が行なわれず現在に至っているのが実状です。区民の皆様のご理解を賜り区費等の改正検討を行なう時期ではなからうか、これが解決されれば区の発展につながると思います。

入口を間違えて入ってき出口がなかなか見つからず右往左往、此でいいのかこれが区の発展に差し障りが無いだろうか又、口に含まされ顎の力が弱いため噛み砕いて体内に取り入れることができず口に含みっぱなし、自分で含んだ物ならよく噛み砕き飲み込み消化したが……

永年の懸案事項の一つであります河合公民館の改築問題であります。全面改築は、現時点では財政面で無理と判断し、前年度より無理と判断し、前年度よりの申し送り事業として雨漏りの元となっていた屋根の吹き替え修繕を行ない、雨漏りは解消致しました。

下水道整備事業は、区画整理事業と表裏一体で区画整理対象地権者の理解と協力があつて成しえる事業ではなからうかと思われま

す。但し、県道河合多治見線付近については、平成二十一年度の実設計画委託予定である旨を市当局より回答を得ております。

甘草溜池改修事業につきましては、今年度は継続事業として本工事に取掛かっております。

以上述べさせて頂きましたが、此も偏に区民の皆様並びに役員皆様方の協力の賜と感謝致しております。

合 掌

区運営の基本構想に掲げた方針の一つが「安心安全な街作り」でした。これに多くの区民の皆様のご理解とご支援を頂き、安全な街

更この号からは「安心な街作り」に取り組んでおられる多くの人々の活動を紹介いたします。

助け合うことが「安心な街作り」の基本であると考え、泉のボランティア活動に参加をしておられる方々から寄せて頂いた記事を順次特集して紹介させていただきます。

この他に、対面朗読、ボランティア協議会の行事、視覚障害者との交流も行っています。そして、月一回ウエルフェアで例会を持ち、音訳のしかたの勉強やお互いの交流もしています。

私達は、本との出会い、人々との出会いに喜びを感じ、そして視覚障害者からの一言に励まされ活動しています。

音訳サークル「うぐいす」の活動

サークルうぐいすは、視覚障害者のための録音テープ作りをする音訳ボランティアサークルで、発足して十年になります。現在、会員は二十名。中には仕事をしながら、或いは、親の介護をしながらの人もあり、それぞれの生活スタイルの中で時間を作って活動しています。

録音テープを作るには漢字の読み方や語句の意味を調べ、何度も読む練習をしてから、福祉施設ひだまりの録音室へ行って録音をします。下調べや録音で苦労しますが、完成したときの充実感も味わうことができます。

製作している録音テープは、年五回発行されている「福祉だより」、月一回の

ボランティア活動への誘い

泉のボランティア活動の取り組みをもっと詳しく知りたい、活動に参加をしたい、活動の心のあるお方は土岐市総合福祉センター「ウエルフェア土岐」TEL五七〇六六六まで連絡をください。ボランティアグループの代表者名や連絡方法を詳しく教えてください。

土岐織部まつりに参加して

連合区 女性部長 佐賀 仁美

八月三日に土岐織部祭が開催され野焼き、盆踊り大会に参加しました。今年土岐川河川敷で新



しい踊り織部音頭が出来て皆んな一生懸命練習をして覚え、土岐音頭、郡上節、中馬馬子唄等を演奏で踊りました。

河原から吹く風が心地よかったです。ちよつと足元にジャリがあつたので少し気を使いましたが沢山の人がありお祭りが盛り上がり花火もきれいで楽しい時間が過ごせましたと思ひます。

皆さんお疲れ様、ご苦労様でした。

行事予定

- 10/2 土岐市連合自治会 連絡協議会理事會
- 9 泉町民運動會
- 10 泉町連合区三役會 秋祭り
- 19 土岐市連合自治会 連絡協議会・研修旅行
- 21 泉町連合区定例会
- 22 泉町戦没者慰霊祭
- 27 助成団体代表者會議
- 11/6 土岐市連合自治会 連絡協議会理事會
- 18 泉町連合区定例会
- 19 泉町公民館まつり 泉町自主防災組織講習會
- 12/4 土岐市連合自治会 連絡協議会理事會
- 18 泉町連合区定例会 通年取組週辺パトロールの実施